

Dr. 森下セミナー受講者様 限定

矯正の基礎臨床からの

セカンドステップセミナー 2019年10月

「矯正の基礎は勉強しました。
でもそれが臨床となると自信がない。」

経験が少ないのですから、当然です。

この悩みを解消するためには、経験のあるメンターのもと、

多くの仲間たちと症例を共有することが役に立ちます。

今回は皆さんに症例を持ちよっていただく形での診断会を企画しました。

講師からもアドバンス的な話題提供をします。

参加ご希望の先生は症例のプレゼンテーションを準備してください。

講義中に説明したように X 線や顔貌・口腔内写真、模型の写真があると

いいですね。まだ症例がない先生も一緒に診断を考えましょう。

すでに治療が進んでいる先生は途中経過も見せてください。

時間の許す限り議論しましょう。

矯正の基礎臨床からのセカンドステップセミナー 2019年10月 内容

TOPICS

- 1 さまざまな矯正装置の選択
- 2 歯科矯正用アンカースクリューの応用
- 3 受講者様の持ち寄りによる診断会
あらかじめ症例の種類をお知らせください。発表順を決めておきます。

日時

2019年10月22日(火・祝) 9:30-17:30 予定

カボデンタルシステムズ株式会社

東京本社 セミナールーム 品川駅より徒歩約10分、無料シャトルバス約3分
東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー 15F

受講料

35,000円(税込・昼食付き)

受講料

過去に Dr. 森下「矯正の基礎臨床」セミナーをご受講された先生

お申込方法

■ウェブサイトからお申し込みください。

<http://www.kavo.co.jp>→セミナー→Ormco セミナー(あるいはオームコで検索)

■お電話の場合は 03-6859-0078 オームコ セミナー係まで(平日 9:00-18:00)

お問い合わせ

オームコジャパン カボ デンタル システムズ株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川 4-7-35 御殿山トラストタワー 15F

オームコ セミナー係 03-6859-0078

お電話受付時間：9:00~18:00(土曜、日曜、祝祭日、年末年始を除く)

※キャンセルされる場合は、開催日より7営業日(土/日/祝除く)前の17時迄にお電話にてご連絡ください。
それ以降は、キャンセル料として受講料の50%、当日のキャンセルおよび無断欠席の場合は、100%をキャンセル料として申し受けます。何卒ご了承ください。詳しくはお申し込み後、詳細案内をお送り致しますのでそちらをご覧ください。

2019年10月22日開催

Dr. Tadashi Morishita

講師：森下 格 先生

略歴

昭和63年
九州大学歯学部卒、
同大学院歯科矯正学専攻
平成5年
九州大学歯学部付属病院
矯正歯科医員
平成15年
医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院
矯正歯科診療部長

平成31年3月現在
社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
矯正歯科診療部長

日本矯正歯科学会 認定医 (No.1194)

日本矯正歯科学会 指導医 (No.548)

平成20年5月より平成24年4月まで
Level Anchorage System Society 会長 兼 チーフ
インストラクター

所属学会

Level Anchorage System Society
WFO (World Federation of Orthodontists)
AAO (American Association of Orthodontists)
日本矯正歯科学会 認定医・指導医
九州矯正歯科学会
日本口蓋裂学会、日本顎変形症学会、日本顎蓋
顎顔面外科学会、日本小児歯科学会、日本形成
外科学会、日本障害者歯科学会、日本口腔筋機
能療法学会、成育歯科医療研究会

著書

障がい者の矯正歯科治療—障害別治療目標の設定と治療対応—(2009、東京臨床出版)



Dr. Masato Nishioka

インストラクター：西岡真人先生

略歴

平成12年 九州大学歯学部卒
同大学歯科矯正学専攻
平成26年 西岡矯正歯科医院
(福岡) 院長

歯学博士(九州大学)
日本矯正歯科学会認定医
Level Anchorage System
Society インストラクター

所属学会

日本矯正歯科学会 認定医
九州矯正歯科学会
Level Anchorage System Society
日本舌側矯正歯科学会

受賞歴

平成16年
第63回日本矯正歯科学会大会 学術大会優秀発表賞

平成25年
第72回日本矯正歯科学会大会 学術大会優秀発表賞
原著論文

Root resorption and immune system factors in the
Japanese.
Nishioka M, et al. Angle Orthod. 2006 Jan;76
(1):103-8.

TMJ osteoarthritis/osteoarthritis and immune
system factors in a Japanese sample.
Nishioka M, et al. Angle Orthod. 2008 Sep;78
(5):793-8. 他

